

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
開 催 年 月 日	令和2年3月25日（水）	
開 始 ・ 終 了 時 刻	10時00分 から 11時00分まで	
開 催 場 所	弘前市役所市民防災館3階 防災会議室	
議 長 等 の 氏 名	弘前大学名誉教授 長谷川 成一	
出 席 者	会 長	長谷川 成一
	委 員	福井 敏隆
	委 員	須藤 龍哉
	委 員	石場 久子
	委 員	今井 二三夫
	委 員	澤口 正光
	委 員	小笠原 清寿
	委 員	堀内 弦
	委 員	高木 弘子
	委 員	鳴海 誠
欠 席 者	委 員	澤頭 潤
	委 員	佐藤 久常
	委 員	野呂 忠久
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	都市計画課長	中田 和人
	都市計画課長補佐	中川 元伸
	都市計画課景観係長	工藤 孝幸
	都市計画課総括主査	佐々木 美子
	都市計画課技師	宮舘 歩夢
	都市計画課技師	守屋 圭那
	文化財課長	小山内 一仁
	文化財課長補佐	神 弘樹
	文化財課主幹兼文化財保護係長	小石川 透
	文化財課主事	佐藤 俊介
関 係 人 出 席 者	青森県都市計画課 都市計画・景観グループ 総括主幹 関 孝幸	
会 議 の 議 題	<p>会 議</p> <p>案件1 令和元年度 進行管理・評価シートについて</p> <p>案件2 弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について</p>	

会 議 結 果	別添議事録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	資料1 令和元年度 進行管理・評価シートについて 資料2 弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について
会 議 内 容  ( 発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等 )	別添議事録のとおり
その他必要事項	・公開

## 令和元年度 歴史的風致維持向上計画推進協議会議事録

日時：令和2年3月25日（水） 午前10時～

場所：弘前市役所市民防災館3階 防災会議室

### 【会議】 案件1 計画進捗評価について

#### ◎説明事項

事務局より令和元年度弘前市歴史的風致維持向上計画の進捗評価(資料1)に沿って説明

#### <委員からの意見>

【長谷川会長】 5ページ、旧第五十九銀行本店本館整備事業について。定量的定性的評価の下から2行目に日付が記載されていないが、これは行ってから記入するのか、年度末実施予定か。

【事務局：文化財課 佐藤主事】 3月末竣工予定となっている。最終的に日付を入れて国に提出することとなる。

【堀内 委員】 17ページ、松並木保存管理事業について。予定を大幅に遅れて「12月に施肥」とあるが、大幅に遅れた理由は事務的な何か、薬剤の入荷などの関係か。

【事務局：小石川主幹】 事務的手続きの遅れである。

【今井 委員】 10ページの住民説明会は中止になったので3月20日についての記載は削除しても、5月と8月に別の報告会を行っていたかと思うので、それを入れて、この項目を活かしてはどうか

【事務局：小石川主幹】 3月20日に関してはまったく中止ということではなく様子を見ながら延期という形で報告会を行いたい。文言については確認し、修正したい。

【長谷川 会長】 修正については表現を工夫していただきたい。

【福井 委員】 14、15ページの市民中央広場関係について、広場は整備されて、

景観は良いものになっているが、公園側は非常に景観が悪いと思う。県の事業は来年度、公園側の補償物件の移転を実施するようだが、市の補償物件の移転等はいつ行い、いつ残りを整備する予定なのか。

【事務局：中田課長】 当該場所については、県より市へ回答できる状態になっていないと聞いている。そのため正式に契約を交わしていないと思われる。市から所有者へ購入の希望は伝えているが、県事業の歩道の拡幅が終わってから改めて市の相談に応じると言われている。地権者から県事業終了後の意向を確認してからにはなるが、市としては全面整備を前提に、来年度土地取得費等を予算化している。

【長谷川 会長】 他に意見はないようなので、今回出された意見について、事務局は必要に応じて進行管理・評価シートに反映させ、修正をしてください。反映させた修正点や、国からの修正指示などの確認については、事務局と会長である私に一任していただけるか。

(了承)

【長谷川 会長】 皆様から了承をいただいたので、事務局は国との手続きを進めてください。

## 案件 2 弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について

### ◎説明事項

事務局より 弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について(資料 2)に沿って説明

#### <委員からの意見>

【長谷川 会長】 42 ページ下の領地高の「地」は→「知」である。

【長谷川 会長】 36 ページに記載の弘前れんが倉庫美術館は副市長の挨拶で 4 月開館とおっしゃっていたが、4 月の何日に開館するのか

【事務局：中田課長】 11 日にオープンする。

【福井 委員】 案件に直接は関係ないが、れんが倉庫に関連して質問したい。弘前れんが倉庫美術館が開館されるが、利用する立場としては、駐車場やバスプールがないとなると、見学に来た小中学生の安全が確保されないと思うので、バスプール、駐車場くらいあったほうがいいと思う。将来的にも作る予定はないか。

【事務局：中田課長】 バスプールに関しては、乗り降りできるスペースはあるが、駐車はできない。そのため、乗り降りする時間以外は、他の場所での待機が必要になる。また、駐車場に関しては、街なかの活性化という観点から付近の一般の駐車場を利用していただき、土手町なども回遊しながら街なかの活性化につなげたいという意図がある。36ページに掲載の小路はアスファルト舗装から石畳風の風情のある舗装に変えている。さらに、富田大通りから北大通りにぬける道路と山道町の交差点の令和4年度早期の開通を目指し、当課で事業を行っている。周辺整備が全て終了した段階で、回遊性を含めて再度検証する必要があると考えている。

【福井 委員】 市側は歩かせる意図はあるだろうが、はたして今の状況の土手町商店街を人が歩くのか。集客が最もあるときに近隣駐車場は見込みの数字ではパンクするのではないかと危惧している。少し考慮した方がよいのではと思っている。

【長谷川 会長】 今回、新たに委員に就任した高木委員の高木静一商店が112ページに宵宮の歴史的風致として、歴史的建造物の前での舞納めという形で載っているのでご紹介いたします。高木委員から何かございますか。

【高木 委員】 計画書を見て、初めて写真で獅子舞が舞っているのを見て、とてもいい感じだと思った。古いだけで建物にどれだけ価値があるかはこれからだとは思いますが、私としても大事に使っていきたいと思っている。内部は住みやすい形に改造しているので、せめて外観だけでも街の人にも愛されるように建物を保っていきたいと思う。

【事務局：工藤係長】 補足説明として、当計画では歴史的な活動の継承のほか、歴史的建造物の保全ということを1つの大きなテーマとしている。その中で、218ページから221ページに掲載されている建造物は、高木静一商店を含めて、委員の皆様からのご意見を基に作成したリストとなっている。ここに掲載されている建造物は、その周辺で一体となって歴史的な活動が展開されていて、建物と活動がパッケージとなっていることから魅力のある建物ということで指定候補一覧に選定されている。我々としても、建物の保全が大事であると感じており、また、リストに記載されている建造物については、外観修景の面で国土交通省の補助金等も活用できる

ため、ニーズに応じて積極的に国へ要望等を上げ、補助金等の手続きの面で支援していきたい。また、補助金等の活用のために、新たに歴史的風致形成建造物を指定した際は、その旨ご報告させていただきたい。

【長谷川 会長】 他に意見はないようなので、事務局は今回出された意見について、必要に応じて計画に反映させ、修正を行ってください。他にも、国からの修正指示があると思いますが、委員の皆様はその確認を事務局と会長である私に一任していただけますでしょうか。

(了承)

【長谷川 会長】 皆様から了承をいただいたので、そのように進めていきたいと思えます。案件については以上になります。皆様には会議進行にご協力いただき、感謝いたします。これをもって閉会いたします。

(閉会)